

**スクール・ミッション**  
 「自主自立 質実剛健 友愛協調」の理念のもと、学ぶ意欲、広い視野と確かな知識・学力、他者を尊重し共に生きる態度を備え、地域社会に貢献できる人材を育成する。

**スクール・ポリシー**  
 ◎グラデュエーション・ポリシー  
 ・明確な目標を持ち、その実現に向けて全力で取り組む強い心を育てる。  
 ・広い視野から物事を捉え、計画的に考える力を育む。  
 ・体験を通じて得た自身の学びを振り返り、新たな学びへ向かう力を育てる。  
 ・他者を尊重し共に生きる態度を身につけた人材を育成する。  
 ・地域社会の一員としての自覚と公共の心を育み、地域社会に貢献する人材を育成する。

◎カリキュラム・ポリシー  
 ・卒業後の進路実現(自己実現)に向けた体系的なキャリア教育を確立する。  
 ・幅広い探究活動に取り組み、事前事後指導の精選による体験的な深い学びを実現する。  
 ・兵庫県版コミュニティ・スクールを展開し、地域貢献活動やボランティアなど地域と深く連携した学びを展開する。  
 ・生徒が企画・運営する学校行事や修学旅行の実施など、生徒が主体的に互いを尊重する学びの場を創出する。  
 ・あいさつの励行、校内環境美化の推進など、地域社会の一員として期待される人格の形成を図る。

◎アドミッション・ポリシー  
 ・地域社会に貢献する意欲を持ち、地域での体験活動に積極的に参加する生徒を募集する。  
 ・自ら学ぶ意欲にあふれた人材を募集する。  
 ・目標の達成に向けて、他者を尊重しながら協調できる生徒を募集する。

NO	観点	項目	目 標	評価
1	学校経営	協働体制の確立	部や学年などの分掌間の連携が円滑に行われるよう工夫、協力されている。	C
		感染症等への取組	感染症等への対策を施しながら安全安心な教育活動が実践されている。	A
		重点目標の理解	本年度重点目標を理解し、その具現化にむけた教育実践が行われている。	B
2	学習指導	資質の向上	各教科、各学年での到達目標に向けた計画的な学習指導の工夫、改善が行われている。 公開授業や研究授業、研修が計画的に行われ、教科指導の向上に努められている。	B B
		適正な生徒評価	客観的で公平・公正な評価を行い、次の目標設定に役立てる工夫・研究が行われている。	B
		個に応じた学習指導の工夫	理解しやすい授業実践に向けての研究と改善に努め、生徒の学習意欲向上が図られている。 多様な生徒のニーズに対応する、個に応じた学習指導の工夫が行われている。	A A
		生徒指導方針と協働体制の確立	社会の構成員としての規範意識や責任感を培う指導が実践されている。 校則について共通理解を持ち、学校全体として生徒一人ひとりの指導に当たる体制と雰囲気がある。	A B
3	生活指導	生徒の内面理解	多様な生徒の実態に対応し、カウンセリングマインドをもった指導が行われている。	A
		進路意識の育成	進路に関する適正な情報の提供など、生徒が自己実現に向け自ら計画的・継続的に実践する力を育てている。	A
4	進路指導	進路指導体制の充実	家庭との連携をとりながら、生徒の能力、適性、興味・関心により生徒自らが主体的に進路を選択、決定することができる指導が行われている。	A
		開かれた学校づくり	家庭や地域の人々への情報発信 学校の教育活動の方針や内容が積極的に家庭や地域に提供されている。 オープンハイスクールや学校説明会等をととして、本校の魅力は広く伝えられている。	A A
6	危機管理体制	防災・安全対策	防火、防災避難訓練が定期的に行われ、非常時に役立つ体制が作られている。	A
		防災・安全教育	防火、防災避難訓練や講演会、教育活動全般をととして、防災意識を育む教育がなされている。	A
7	学校行事の精選と適正化	行事の精選、内容充実	文化祭や体育祭、校内スポーツ大会などの行事が、教育活動全体の視点から実施され、年々改善改良が図られるよう工夫されている。 文化祭や体育祭、校内スポーツ大会などの行事が安全安心な取り組みになるよう工夫されている。 文化祭や体育祭、校内スポーツ大会などの行事を通して、生徒の自主性や創造性を培われるよう工夫されている。	B A A
		ICTの活用促進	ICTを適切に活用した学習活動の充実を図るため計画的で実践的な取り組みを行っている。	B
		情報モラルについて	情報の意味や役割、その影響について理解させ、情報を扱う際の義務や責任についての情報モラルの育成を図られている。 個人情報保護等の情報モラルに関する研修等により、教師自身も情報を扱う際の義務や責任、モラル遵守が果たされている。	B B
9	特色ある学校づくり	特色ある学校づくり	学校の特色化を推進するために、外部講師の活用等をととして、生徒の興味・関心に応える発展的な学習活動が行われている。	B
		特色類型を生かした学校づくり	コミュニティ創生類型の理念に基づいた地域との関わりを持った特色のある教育活動を行っている。	A
10	人権教育	研修の取り組み	全校的な理解の下に、各種研修会を通じて教職員の人権意識の向上が図られている。	C
		人権意識の育成	3年間を見通した人権HRの実施や、人権講演会、福祉体験活動を始め、平常の教育活動全般の教育活動を通して人権を尊重する教育活動が行われている。	B
11	いじめ対応	いじめに対する心構え	いじめは人間として絶対に許せない行為であるという共通認識のもと、被害者の立場に立ち、毅然とした態度で臨んでいる。	A
		具体的な対応	どんな些細な変化も見逃さず、いじめの未然防止、早期発見に努めている。また、いじめの事実を認識した場合はいじめ対応チームを中心として組織的に迅速に対応し、速やかに解決している。	A

※ 評価については、生徒・保護者アンケート結果を見た教職員が自己評価を行い、肯定的な回答の割合を、4段階(A:80%、B:60%、C:40%、D:20%)で表した。